

令和6年度 前期 児童振り返りアンケート結果

①学習時間の「めあて」を考えて学習することができた。

質問①	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	割合	割合
できた	36	32	27	28	20	31	174	34 %	87 %
まあまあできた	23	31	47	58	60	49	268	53 %	
あまりできなかった	14	5	10	11	4	6	50	10 %	13 %
できなかった	5	3	3	3	1	1	16	3 %	
合計人数	78	71	87	100	85	87	508	100 %	

前期に比べ肯定的回答の割合は大きく変化しないが「できた」の項目がへり「まあまあできた」へ移行していることから、前期ほどの勢いを失ったことがうかがえる

②学習時間中、自分で考えたり、友達と話し合って考えたりすることができた。

質問②	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	割合	割合
できた	36	38	36	48	53	47	258	51 %	89 %
まあまあできた	30	22	39	39	29	36	195	39 %	
あまりできなかった	3	8	6	10	1	4	32	6 %	10 %
できなかった	9	2	6	2	1	0	20	4 %	
合計人数	78	70	87	99	84	87	505	100 %	

研究に伴い学習時間の進め方も様々な試行錯誤を重ねていることもあり現状大きく肯定意見が伸びていない

③学習時間の最後の「ふり返り」を自分の言葉でまとめることができた。

質問③	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	割合	割合
そう思う	45	26	23	35	21	31	181	36 %	79 %
少しそう思う	17	30	44	42	44	42	219	43 %	
あまりそう思わない	12	11	14	19	16	11	83	16 %	20 %
そう思わない	4	3	6	3	3	2	21	4 %	
合計人数	78	70	87	99	84	86	504	99 %	

「自分の言葉で」という部分で肯定的回答が減少する。書く活動に苦手意識を持つ児童が多い三吾の特徴ともいえる

④学習時間を自分たちで進めることができるようになった

質問4	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	割合	割合
そう思う	47	34	32	36	37	35	221	44 %	87 %
少しそう思う	23	28	41	45	39	41	217	43 %	
あまりそう思わない	6	6	12	16	6	10	56	11 %	13 %
そう思わない	2	2	2	2	1	0	9	2 %	
合計人数	78	70	87	99	83	86	503	100 %	

研究に関わる実践から、「自分で」考える意識が芽生えている。前期に比べ「少しそう思う」が増えたことは、学習リーダーの新鮮さが薄れた感もあるのではないかと

次の「学校教育目標」を意識して生活することができた。

⑤「自立」自ら学び、考え、行動する人

質問⑤	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	割合	割合
できた	44	36	31	38	28	35	212	42 %	86 %
まあまあできた	25	16	43	49	44	45	222	44 %	
あまりできなかった	7	15	12	12	11	5	62	12 %	13 %
できなかった	2	3	1	0	0	1	7	1 %	
合計人数	78	70	87	99	83	86	503	99 %	

〈学校教育目標〉
昨年度より継続的に指導している項目であり肯定的回答が上回っているところも前年度から変わりなく引き継いでいる

⑥「共生」 思いやりをもち、共に生きる人

質問⑥	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	割合	割合
できた	48	40	44	39	38	45	254	50 %	90 %
まあまあできた	22	24	32	46	36	39	199	40 %	
あまりできなかった	5	5	6	12	9	1	38	8 %	10 %
できなかった	3	1	5	2	0	1	12	2 %	
合計人数	78	70	87	99	83	86	503	100 %	

全学年で肯定的回答が多い項目であった。人権感覚は来年度も重点的指導項目として継続していく必要がある。

⑦「健康」 しなやかで丈夫な、心と体をもつ人

質問7	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	割合	割合
できた	57	39	45	47	42	50	280	56 %	90 %
まあまあできた	15	23	30	37	37	30	172	34 %	
あまりできなかった	3	6	10	12	3	5	39	8 %	10 %
できなかった	3	2	2	3	1	1	12	2 %	
合計人数	78	70	87	99	83	86	503	100 %	

全学年で肯定的回答が多い項目であった。

体を動かす活動への前向きな意識は根付いている

⑧自分でやることを決めたり考えたりして、家庭での学習に取り組めた

質問8	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	割合	割合
できた	41	39	33	30	28	37	208	40 %	77 %
まあまあできた	20	20	34	36	35	38	183	37 %	
あまりできなかった	10	9	15	29	13	8	84	17 %	22 %
できなかった	7	2	5	4年	7	3	24	5 %	
合計人数	78	70	87	95	83	86	499	99 %	

研究に関わる改革の柱でもあるが、現状大きく変化がないためアンケート結果も前年度並みの結果となっている。保護者との認識の違いを埋めるためには児童の家庭学習に対する意識改革と結果につなげることが重要である

⑨生活や総合の学習の時間で学習することを友達と話し合ったり考えたりすることができた

質問9	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	割合	割合
できた	41	50	54	43	40	45	273	54 %	89 %
まあまあできた	20	11	28	42	36	37	174	35 %	
あまりできなかった	12	6	3	11	3	2	37	7 %	11 %
できなかった	5	3	2	3	4	1	18	4 %	
合計人数	78	70	87	99	83	85	502	100 %	

研究の柱でもある「総合的な学習」において、各学級実践していることが肯定的回答につながっている。3年生の肯定意見の結果については、研究に伴う意識の変化と言える

⑩まなびの教室で学んだことが、自分のためになっている。(まなびの教室通級児童対象)

質問10	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	割合	割合
なっている	6	5	3	6	1	0	21	93 %	122 %
まあまあなっている	2	3	4	4	1	0	14	29 %	
あまりなっていない	0	0	3	0	0	1	4	8 %	28 %
なっていない	4	4	1	1	0	0	10	20 %	
合計人数	12	12	11	11	2	1	49	150 %	

肯定的回答が目立つ一方で、否定的意見が低学年で目立つ。まなびの教室がどういった学習をする場で、実生活においてどのような場面で成果があるか、児童に再確認することが求められる

⑪進んで、委員会やクラブ活動に参加することができた。(1～3年生は当番、係活動について、4年生は当番や係活動、クラブ活動について)

質問11	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	割合	
できた	55	47	60	65	52	53	332	67 %	94 %
まあまあできた	11	15	21	29	28	28	132	27 %	
あまりできなかった	6	3	4	4	2	3	22	4 %	6 %
できなかった	4	4	2	1	0	1	12	2 %	
合計人数	76	69	87	99	82	85	498	100 %	

低学年から高学年まで肯定的回答が多数を占めており、社会参画の意識が非常に高いことがうかがえる
今後の課題として決められた常時活動以外に自分たちから「役割」「仕事」を生み出す自主性まで高められるとよい

⑫ゲストティーチャーと楽しく学習ができた。

質問12	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	割合	
できた	54	53	53	55	47	36	298	60 %	92 %
まあまあできた	15	12	25	32	33	44	161	32 %	
あまりできなかった	5	3	6	10	1	4	29	6 %	7 %
できなかった	1	2	3	2	1	1	10	2 %	
合計人数	75	70	87	99	82	85	498	99 %	

各学年で積極的ゲストティーチャーを招いていることが肯定的回答につながっている

⑬縦割り班活動に楽しく参加することができた。

質問13	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	割合	
できた	54	42	54	47	40	50	287	58 %	88 %
まあまあできた	12	21	18	35	34	28	148	30 %	
あまりできなかった	2	4	11	14	6	7	44	9 %	12.2 %
できなかった	7	1	4	3	2	0	17	3 %	
合計人数	75	68	87	99	82	85	496	100 %	

縦割り班活動は週時程に組み込まれて結果としては昨年度のデータからの伸び率はあまり高くはないといえる。今後後期以降に回数が増えるとともに児童主体で行えるようにすることで肯定的回答がさらに増えるようにする
後期特に1年生は肯定意見が大きく伸びる結果になった。6年生の日々の声掛けの成果として表えられる